

第11章 手帳取得者の状況

本章では、集計対象者 7,895 人のうち身体障害者手帳、愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳のいずれかを取得している人 333 人の状況について述べる。

1 手帳の取得状況一性・年齢階級別、過去調査との比較

手帳取得者の割合は、男性 4.8%、女性 3.8%

手帳の取得状況をみると、「手帳あり」の割合は、全世帯員の 4.2%となっている。

性別でみると、「手帳あり」の割合は、男性 4.8%、女性 3.8%となっている。

年齢階級別でみると、65 歳以上の高齢者では、「手帳あり」の割合は 7.0%となっている。(表 I-11-1)

表 I-11-1 手帳の取得状況一性・年齢階級別、過去調査との比較

	総数	手帳あり	身体障害者手帳のみ	愛の手帳のみ	精神障害者保健福祉手帳のみ	身体障害者手帳+愛の手帳	身体障害者保健福祉手帳+精神障害者手帳	愛の手帳+精神障害者保健福祉手帳	三種類	無回答	手帳なし	無回答
総数	100.0 (7,895)	4.2	2.7	0.3	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	91.0	4.7
男	100.0 (3,684)	4.8	3.2	0.4	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	91.0	4.3
20歳未満	100.0 (534)	1.7	0.4	0.9	0.2	-	-	-	-	-	93.6	4.7
20~29歳	100.0 (369)	4.6	1.1	1.6	1.1	0.5	-	0.3	-	-	91.1	4.3
30~39歳	100.0 (457)	2.2	0.9	-	0.9	-	0.2	0.2	-	-	96.5	1.3
40~49歳	100.0 (546)	2.7	0.9	0.2	0.9	0.4	0.2	0.2	-	-	91.2	6.0
50~59歳	100.0 (509)	5.1	3.5	0.2	1.0	-	0.2	-	-	0.2	90.8	4.1
60~69歳	100.0 (547)	6.8	5.7	-	0.4	0.4	-	-	0.2	0.2	88.7	4.6
70~79歳	100.0 (443)	6.8	5.4	-	0.2	0.2	-	-	-	0.9	89.2	4.1
80歳以上	100.0 (260)	11.5	11.2	-	-	-	-	-	-	0.4	84.2	4.2
女	100.0 (4,158)	3.8	2.4	0.2	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	91.4	4.9
20歳未満	100.0 (577)	1.6	0.3	0.5	0.2	0.3	-	0.2	-	-	92.7	5.7
20~29歳	100.0 (347)	2.6	0.9	0.3	1.2	-	-	-	-	0.3	94.8	2.6
30~39歳	100.0 (504)	1.6	1.2	0.2	0.2	-	-	-	-	-	95.6	2.8
40~49歳	100.0 (647)	3.4	0.9	0.3	1.4	0.3	-	-	0.2	0.3	91.7	4.9
50~59歳	100.0 (515)	3.7	1.4	0.2	1.6	0.4	0.2	-	-	-	90.9	5.4
60~69歳	100.0 (587)	2.4	1.5	-	0.3	0.2	-	-	0.2	0.2	91.1	6.5
70~79歳	100.0 (562)	7.1	6.4	-	0.2	0.2	-	0.2	-	0.2	87.5	5.3
80歳以上	100.0 (402)	8.7	7.5	0.2	0.2	-	-	-	-	0.7	87.1	4.2
(再掲)総数 65歳以上	100.0 (2,338)	7.0	6.1	0.0	0.1	0.2	-	0.0	-	0.5	88.2	4.8
男 65歳以上	100.0 (1,031)	7.8	6.9	-	0.1	0.2	-	-	-	0.6	88.1	4.2
女 65歳以上	100.0 (1,307)	6.4	5.5	0.1	0.2	0.2	-	0.1	-	0.4	88.4	5.3
* 平成23年度	100.0 (9,481)	3.1	2.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	-	0.1	95.1	1.8
平成18年度	100.0 (9,171)	3.3	2.7	0.2	0.0	0.0	-	0.0	-	0.2	92.6	4.1
平成13年度	100.0 (10,975)	2.4	1.9	0.2	0.1	0.1	-	0.0	0.0	0.0	94.7	3.0

2 手帳取得者の就業の状況

(1) 手帳取得者の就業状況一性・年齢階級別、手帳の取得状況別、全世帯員との比較

手帳取得者の「就業者」の割合は、全世帯員と比べて低い

手帳取得者の就業状況をみると、「就業者」の割合は、27.3%で、全世帯員（51.7%）と比べて24.4ポイント低い。

性別でみると、「就業者」の割合は、男性31.4%、女性23.1%で、男性の方が8.3ポイント高くなっている。（表I-11-2）

表I-11-2 手帳取得者の就業状況一性・年齢階級別、手帳の取得状況別、全世帯員との比較

	総数	労働力人口	就業状況						仕事を探していた	非労働力人口	非労働力人口の内訳			無回答
			就業者	主に仕事	家事などのかたわらに仕事	通学のかたわらに仕事	その他	家事専業			通学のみ	(働いていない 幼児、高齢、病气など)		
総数	100.0 (333)	28.5	<u>27.3</u>	21.3	4.2	-	1.8	1.2	68.2	12.6	5.1	50.5	3.3	
性・年齢階級別	男	100.0 (175)	33.1	<u>31.4</u>	28.0	1.1	-	2.3	1.7	62.3	0.6	5.1	56.6	4.6
	20歳未満	100.0 (9)	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	
	20～39歳	100.0 (27)	59.3	51.9	44.4	-	-	7.4	7.4	37.0	-	-	37.0	3.7
	40～59歳	100.0 (41)	51.2	48.8	43.9	2.4	-	2.4	2.4	46.3	-	-	46.3	2.4
	60～79歳	100.0 (67)	23.9	23.9	22.4	-	-	1.5	-	67.2	1.5	-	65.7	9.0
	80歳以上	100.0 (30)	16.7	16.7	13.3	3.3	-	-	-	83.3	-	-	83.3	-
	女	100.0 (156)	23.7	<u>23.1</u>	14.1	7.7	-	1.3	0.6	74.4	26.3	4.5	43.6	1.9
	20歳未満	100.0 (9)	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	88.9	-	77.8	11.1	-
	20～39歳	100.0 (17)	58.8	52.9	41.2	5.9	-	5.9	5.9	41.2	5.9	-	35.3	-
	40～59歳	100.0 (41)	26.8	26.8	14.6	12.2	-	-	-	70.7	24.4	-	46.3	2.4
	60～79歳	100.0 (54)	25.9	25.9	14.8	9.3	-	1.9	-	70.4	40.7	-	29.6	3.7
80歳以上	100.0 (35)	2.9	2.9	-	2.9	-	-	-	97.1	22.9	-	74.3	-	
手帳の取得状況別	身体障害者手帳のみ	100.0 (217)	25.3	24.9	20.3	3.7	-	0.9	0.5	72.8	14.3	1.4	57.1	1.8
	愛の手帳のみ	100.0 (22)	36.4	36.4	36.4	-	-	-	-	63.6	4.5	31.8	27.3	-
	精神障害者保健福祉手帳のみ	100.0 (50)	36.0	30.0	20.0	8.0	-	2.0	6.0	62.0	8.0	4.0	50.0	2.0
	身体+愛	100.0 (17)	35.3	35.3	11.8	5.9	-	17.6	-	58.8	5.9	23.5	29.4	5.9
	身体+精神	100.0 (4)	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	75.0	-	-	75.0	-
	愛+精神	100.0 (5)	80.0	80.0	80.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	-	-
	三種類	100.0 (3)	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	-	33.3	-
全世帯員	100.0 (7,895)	52.4	<u>51.7</u>	41.9	7.7	1.1	0.9	0.7	45.3	12.5	10.5	22.4	2.3	

(2) 手帳取得者の就労の形態-性別

手帳取得者の就業者 91 人について就労の形態をみると、「雇用者」の割合は 76.9%、「自営業」は 13.2%となっている。

性別でみると、「雇用者」の割合は、男性 81.8%、女性 69.4%となっている。(表 I-11-3)

表 I-11-3 手帳取得者の就労の形態-性別

	総数 (就業者)	雇用者						自営業				その他	無回答
		常雇	一般常雇	会社などの役員	臨時雇	日雇い	自営業 (雇人あり)	自営業主 (雇人なし)	家族従業者 (自家営業の手伝い)				
総数	100.0 (91)	76.9	60.4	53.8	6.6	12.1	4.4	13.2	3.3	5.5	4.4	4.4	5.5
男	100.0 (55)	81.8	67.3	58.2	9.1	9.1	5.5	5.5	1.8	3.6	-	5.5	7.3
女	100.0 (36)	69.4	50.0	47.2	2.8	16.7	2.8	25.0	5.6	8.3	11.1	2.8	2.8

第12章 介護等の状況

本章では、集計対象世帯 3,466 世帯のうち、「世帯員に介護、介助、手助け及び見守りなど（以下「介護等」という。）を必要としている人がいる」と答えた（249 世帯）及び「介護等が必要な人（271 人）」の状況について述べる。

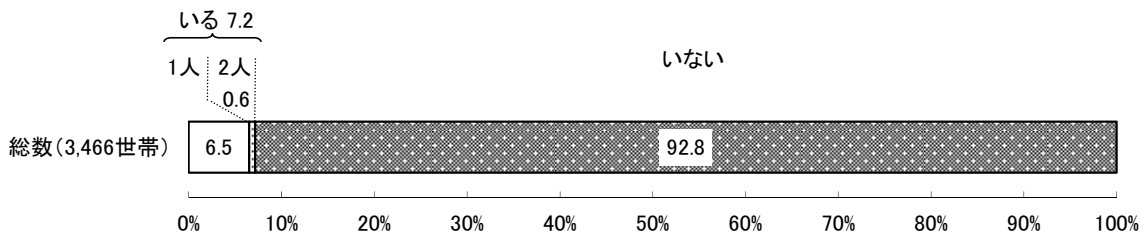
1 介護等が必要な人がいる世帯の状況

(1) 介護等が必要な人の有無

集計対象世帯 3,466 世帯のうち、介護等を必要としている人が「いる」世帯の割合は、7.2%となっている。

人数は、「1人」の世帯の割合が 6.5%、「2人」が 0.6%となっている。（図 I-12-1）

図 I-12-1 介護等が必要な人の有無



(2) 介護等が必要な人の有無—世帯類型別

介護等が必要な人の有無を世帯類型別にみると、「いる」の割合は、手帳取得者がいる世帯の割合が最も高く、35.8%となっている。（表 I-12-1）

表 I-12-1 介護等が必要な人の有無—世帯類型別

	総数	いる			いない	無回答	
		1人	2人				
総数	100.0 (3,466)	7.2	6.5	0.6	92.8	-	
世帯類型別	親族世帯	100.0 (2,378)	8.2	7.2	0.9	91.8	-
	核家族世帯	100.0 (2,200)	7.0	6.3	0.7	93.0	-
	その他の親族世帯	100.0 (178)	21.9	18.5	3.4	78.1	-
	非親族世帯	100.0 (15)	-	-	-	100.0	-
	単独世帯	100.0 (1,065)	5.0	5.0	-	95.0	-
	高齢者のみの世帯	100.0 (957)	12.1	11.0	1.1	87.9	-
	高齢者がいる世帯	100.0 (635)	15.9	14.3	1.6	84.1	-
	高齢者がいない世帯	100.0 (1,842)	1.6	1.6	0.1	98.4	-
	手帳取得者がいる世帯	100.0 (310)	<u>35.8</u>	32.6	3.2	64.2	-
	手帳取得者がいない世帯	100.0 (2,966)	4.4	4.0	0.4	95.6	-

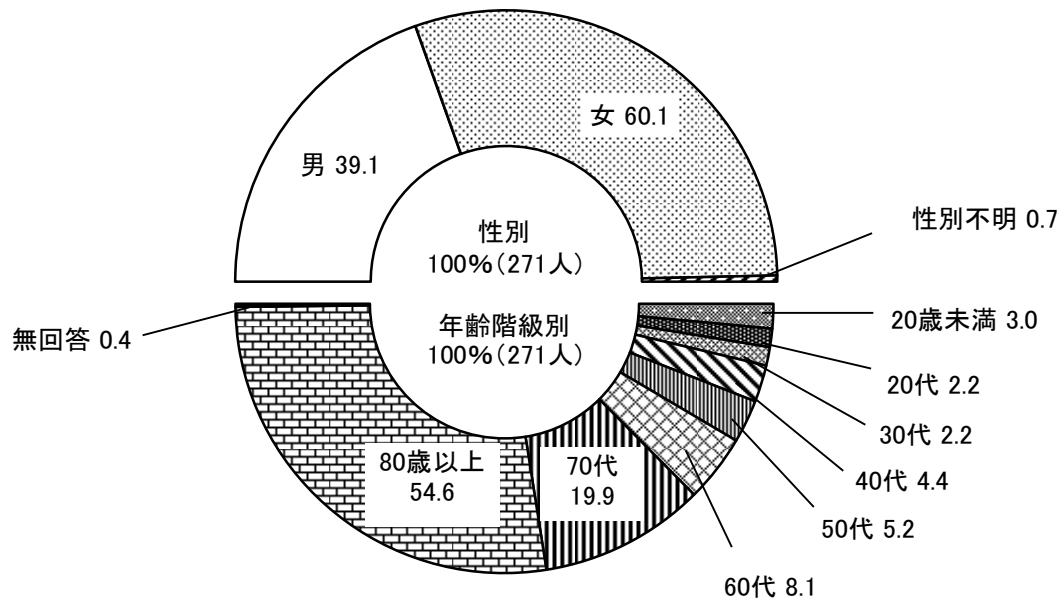
2 介護等が必要な人の状況

(1) 介護等が必要な人の状況－性・年齢階級別

介護等を必要としている人（271人）を性別で見ると、男性39.1%、女性60.1%で、女性の方が高くなっている。

年齢階級別にみると、「80歳以上」の割合が54.6%で最も高く、次いで「70代」が19.9%となっている。（図I-12-2）

図I-12-2 介護等が必要な人の状況－性・年齢階級別



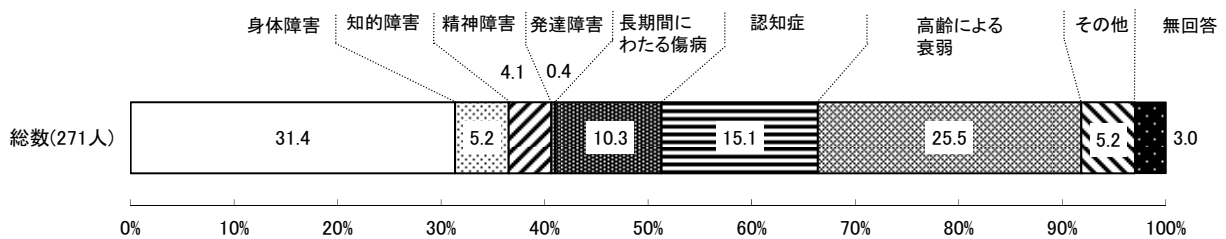
(2) 介護等が必要な人の状況（必要になった主な理由、状態、期間）

介護等を必要としている人（271人）の介護等が必要になった主な理由をみると、「身体障害」の割合が31.4%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が25.5%、「認知証」が15.1%となっている。（図I-12-3）

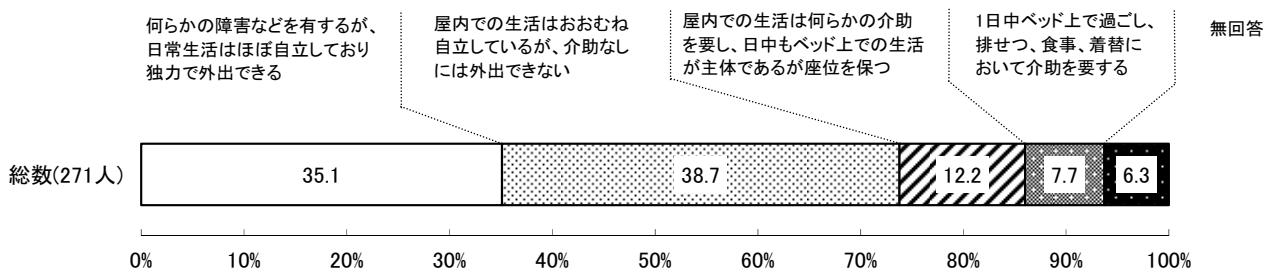
介護等が必要な人の状態をみると、「何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる」人の割合は35.1%である。一方、「1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する」人の割合は7.7%となっている。（図I-12-4）

介護を必要とするようになってからの期間をみると、「5年未満」の割合は52.4%で5割となっている。一方、「20年以上」の割合は8.5%となっている。（図I-12-5）

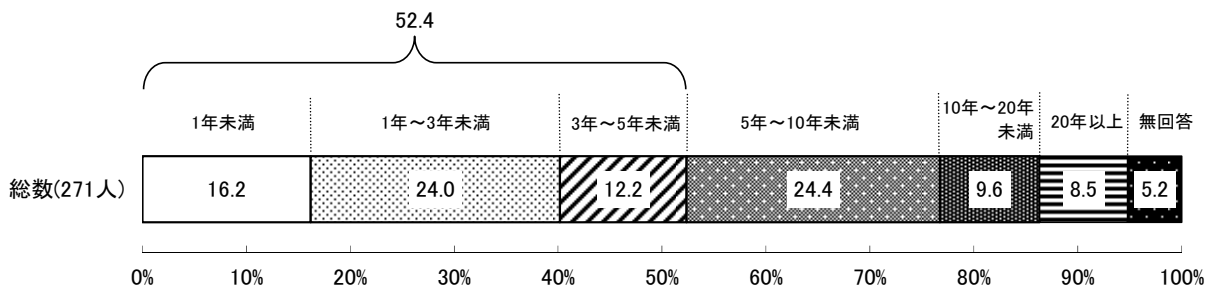
図I-12-3 介護等が必要になった主な理由



図I-12-4 介護等が必要な人の状態



図I-12-5 介護等が必要とするようになってからの期間



(3) 介護等が必要になった主な理由－性・年齢階級別

介護等が必要になった主な理由は、「身体障害」が最も高く、3割

介護等が必要になった主な理由を性別で見ると、男女ともに「身体障害」の割合が最も高く（男性 34.0%、女性 30.1%）、次いで「高齢による衰弱」となっている（男性 23.6%、女性 27.0%）。

性・年齢階級別にみると、65歳以上では、男性は「身体障害」と「高齢による衰弱」の割合がともに 29.4%で最も高く、女性は「高齢による衰弱」が 32.6%で最も高くなっている。（表 I-12-2）

表 I-12-2 介護等が必要になった主な理由－性・年齢階級別

	総数	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	長期にわたる 傷病にわた	認知症	弱 高 齢 に よ る 衰	その他	無回答
総数	100.0 (271)	31.4	5.2	4.1	0.4	10.3	15.1	25.5	5.2	3.0
男	100.0 (106)	<u>34.0</u>	6.6	2.8	0.9	14.2	17.0	<u>23.6</u>	-	0.9
0～9歳	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～19歳	100.0 (3)	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
20～29歳	100.0 (4)	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-
30～39歳	100.0 (2)	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49歳	100.0 (3)	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-
50～59歳	100.0 (6)	66.7	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7
60～69歳	100.0 (16)	75.0	6.3	-	-	6.3	12.5	-	-	-
70～79歳	100.0 (24)	25.0	-	4.2	-	29.2	16.7	25.0	-	-
80歳以上	100.0 (48)	20.8	-	-	-	14.6	25.0	39.6	-	-
(再掲)65歳以上	100.0 (85)	<u>29.4</u>	1.2	1.2	-	17.6	21.2	<u>29.4</u>	-	-
女	100.0 (163)	<u>30.1</u>	3.7	4.3	-	8.0	14.1	<u>27.0</u>	8.6	4.3
0～9歳	100.0 (1)	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
10～19歳	100.0 (3)	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-
20～29歳	100.0 (2)	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-
30～39歳	100.0 (4)	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0
40～49歳	100.0 (9)	22.2	11.1	33.3	-	-	-	-	22.2	11.1
50～59歳	100.0 (7)	42.9	14.3	14.3	-	14.3	-	-	14.3	-
60～69歳	100.0 (6)	66.7	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-
70～79歳	100.0 (30)	43.3	-	-	-	-	20.0	10.0	20.0	6.7
80歳以上	100.0 (100)	24.0	2.0	-	-	11.0	16.0	41.0	3.0	3.0
(再掲)65歳以上	100.0 (135)	30.4	1.5	-	-	8.1	16.3	<u>32.6</u>	7.4	3.7

(4) 介護等が必要になった主な理由—世帯類型（高齢者、要介護・要支援認定、手帳取得者の有無）別

介護等が必要になった主な理由を世帯類型別にみると、高齢者のみの世帯、高齢者がいる世帯では、「高齢による衰弱」の割合が最も高く、それぞれ 36.5%、32.1%となっている。一方、高齢者がいない世帯では、「身体障害」の割合が 43.1%で最も高くなっている。

また、要介護・要支援認定を受けている世帯、受けていない世帯ともに、「身体障害」の割合が最も高く（30.0%、32.1%）、次いで「高齢による衰弱」となっている（28.3%、17.9%）。（表 I-12-3）

表 I-12-3 介護等が必要になった主な理由—世帯類型（高齢者、要介護・要支援認定、手帳取得者の有無）別

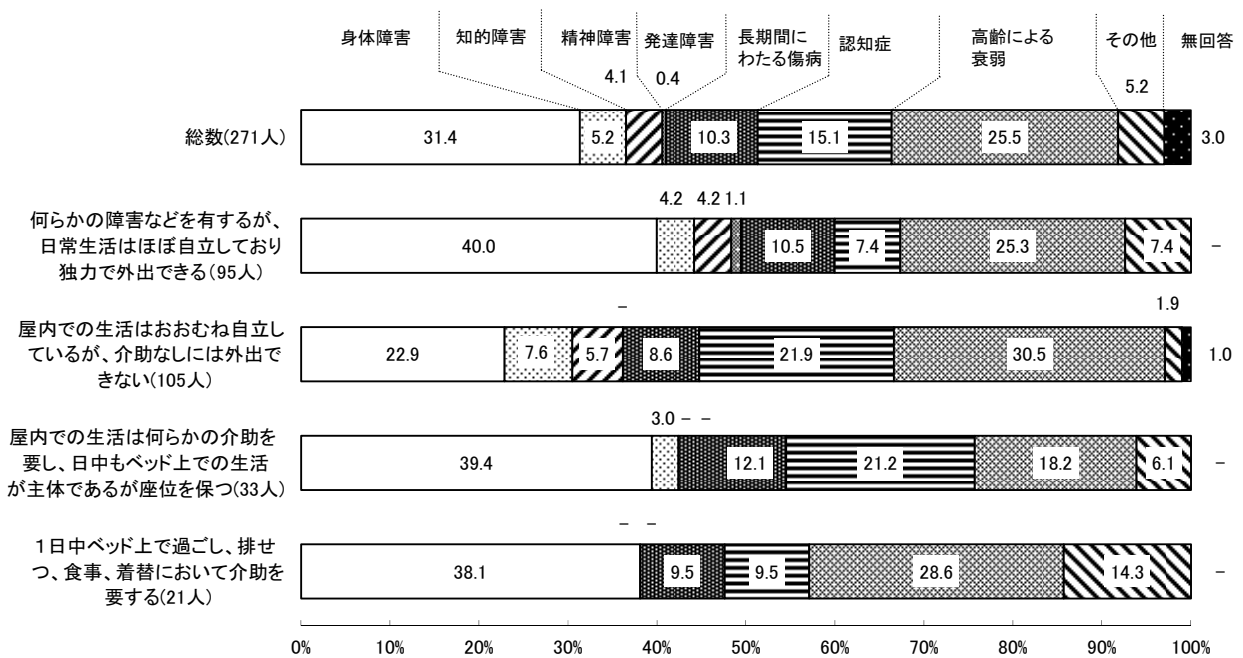
		総数	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	長期間にわたる傷病	認知症	高齢による衰弱	その他	無回答
総数		100.0 (271)	31.4	5.2	4.1	0.4	10.3	15.1	25.5	5.2	3.0
高齢者の有無	高齢者のみの世帯	100.0 (85)	24.7	1.2	-	-	11.8	16.5	<u>36.5</u>	7.1	2.4
	高齢者がいる世帯	100.0 (112)	28.6	2.7	1.8	-	10.7	18.8	<u>32.1</u>	1.8	3.6
	高齢者がいない世帯	100.0 (72)	<u>43.1</u>	13.9	12.5	1.4	8.3	6.9	2.8	8.3	2.8
要介護・要支援認定の有無	要介護・要支援認定を受けている人がいる世帯	100.0 (180)	<u>30.0</u>	2.8	1.1	-	10.0	18.9	<u>28.3</u>	6.7	2.2
	要介護・要支援認定を受けていない人がいない世帯	100.0 (78)	<u>32.1</u>	10.3	11.5	1.3	10.3	9.0	<u>17.9</u>	2.6	5.1
手帳の有無	手帳取得者がいる世帯	100.0 (121)	52.9	10.7	8.3	0.8	5.8	6.6	9.1	3.3	2.5
	手帳取得者がいない世帯	100.0 (142)	14.1	0.7	0.7	-	13.4	22.5	39.4	6.3	2.8

(5) 介護等が必要になった主な理由－介護等が必要な人の状態別

介護等が必要になった主な理由を介護等が必要な人の状態別にみると、屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない状態の人を除き、いずれの状態の人も、「身体障害」の割合が最も高くなっている（38.1%～40.0%）。

屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない状態の人は、「高齢による衰弱」の割合が30.5%で最も高く、次いで「身体障害」が22.9%、「認知証」が21.9%となっている。（図 I-12-6）

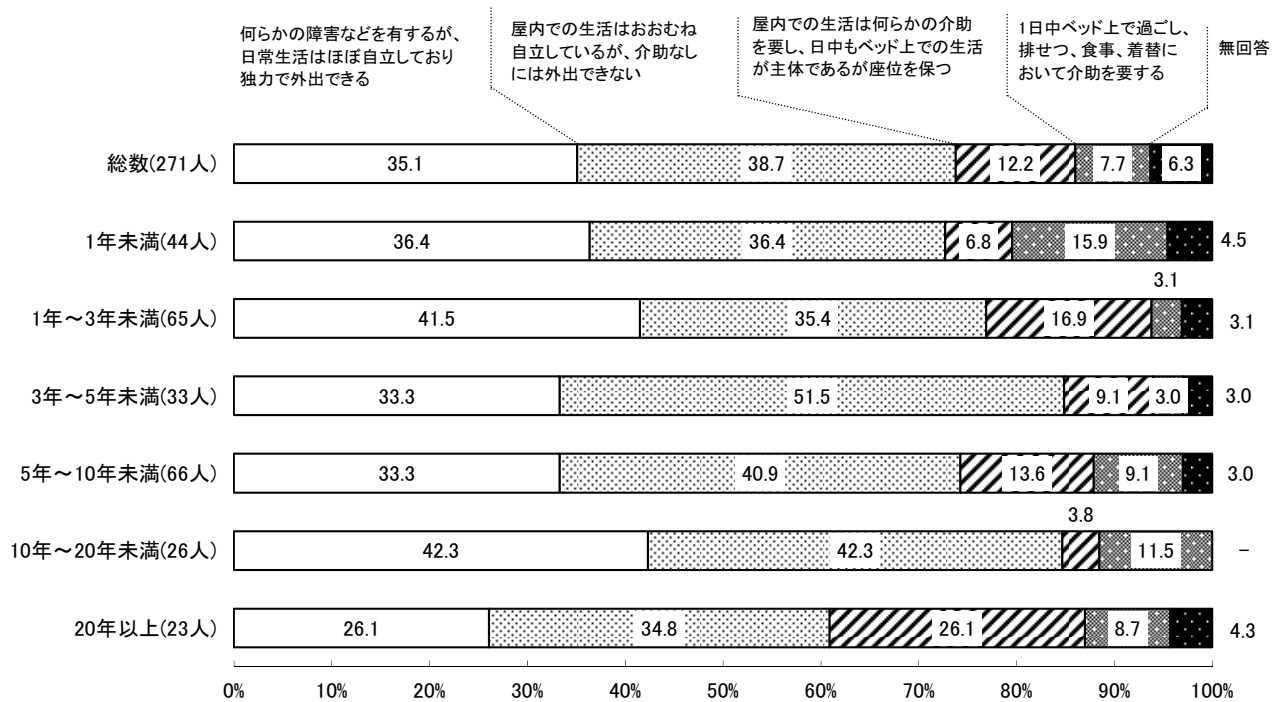
図 I-12-6 介護等が必要になった主な理由－介護等が必要な人の状態別



(6) 介護等が必要な人の状態－介護等を必要とするようになってからの期間別

介護等が必要な人の状態を介護等を必要とするようになってからの期間別にみると、1年～3年未満の人の状態は「何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる」の割合が41.5%で最も高くなっている。(図I-12-7)

図I-12-7 介護等が必要な人の状態－介護等を必要とするようになってからの期間別



3 介護等をしている人の状況

(1) 介護等をしている人の有無及び続柄（同居、別居、事業者）

同居親族からのみ介護等を受けている人の割合は、6割

介護等を必要としている人（271人）のうち、家族など介護等をする人がいる割合は、92.3%となっている。（図 I-12-8）

また、家族など介護等をする人がいる人（250人）に、介護等をしている人の続柄（同居、別居、事業者）について聞いたところ、「同居のみ（同居している人のみが介護等をしている）」割合が最も高く、60.4%となっている。（図 I-12-9）

図 I-12-8 介護等をしている人の有無

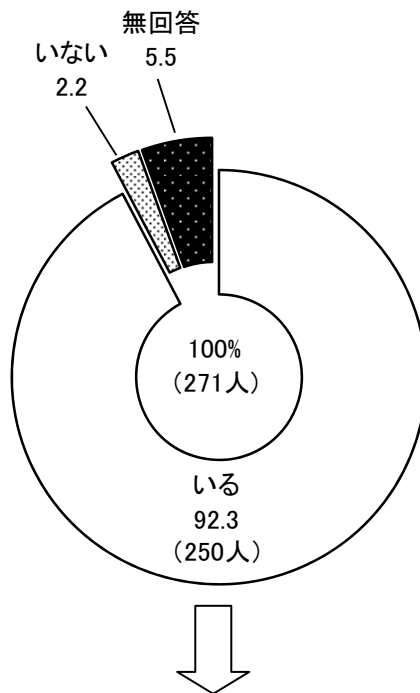
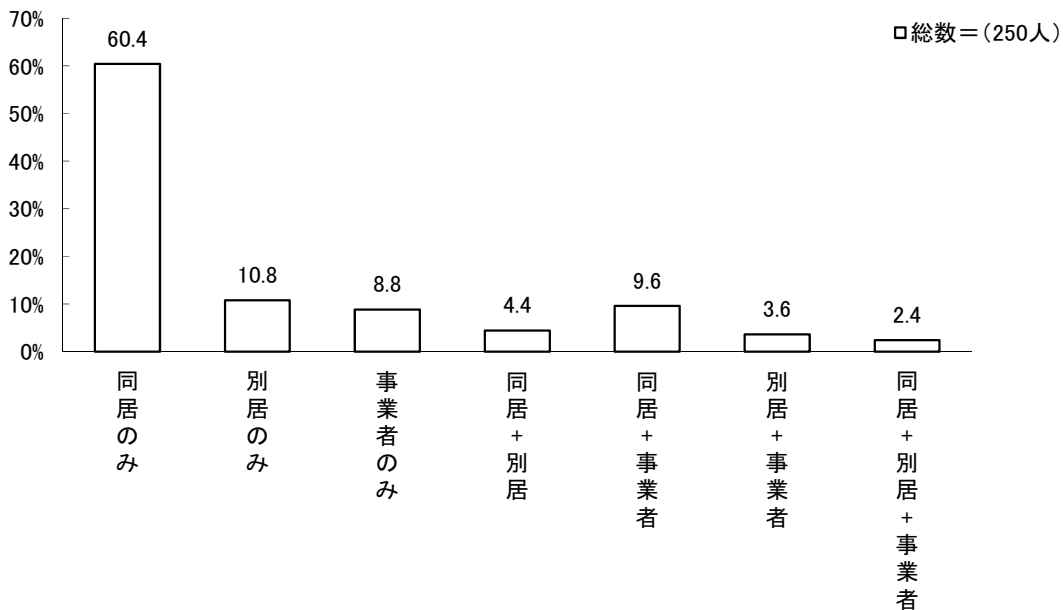


図 I-12-9 介護等をしている人の続柄（同居、別居、事業者）



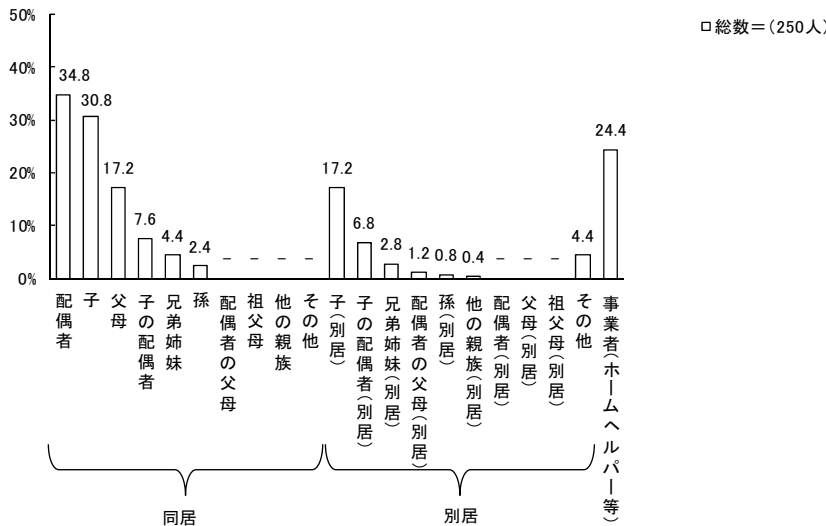
(2) 介護等をしている人の続柄

主に介護等をしている同居親族の続柄は、配偶者が3割

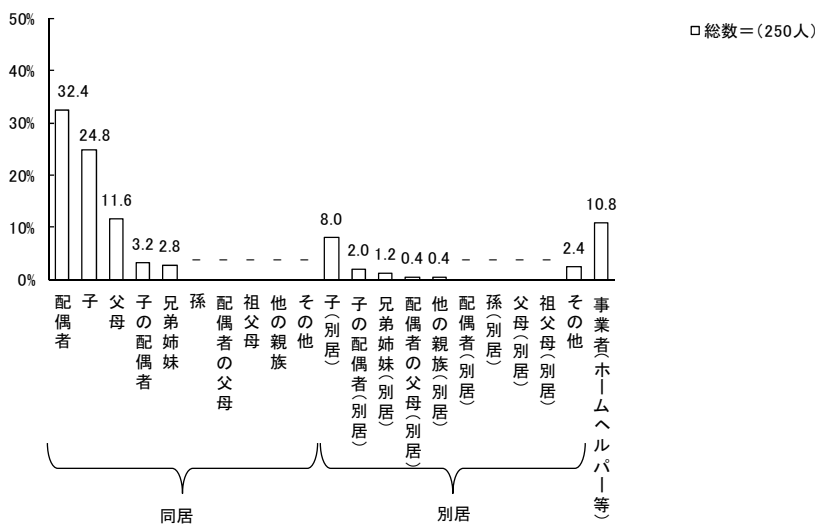
家族など介護等をする人がいる人（250人）に対し、介護等をしている人は誰か聞いたところ、「配偶者（同居）」の割合が34.8%で最も高く、次いで「子（同居）」が30.8%、「事業者（ホームヘルパー等）」が24.4%となっている。また、「別居」では、「子（別居）」の割合が最も高く、17.2%となっている。（図I-12-10）

さらに、介護等をしている人のうち、主に介護等をしている人が誰か聞いたところ、「配偶者（同居）」の割合が32.4%で最も高く、次いで「子（同居）」が24.8%、「父母（同居）」が11.6%、「事業者（ホームヘルパー等）」が10.8%となっている。また、「別居」では、「子（別居）」の割合が最も高く、8.0%となっている。（図I-12-11）

図I-12-10 介護等をしている人の続柄〔複数回答〕



図I-12-11 主に介護等をしている人の続柄



注)「続柄」は、介護等が必要な人からみた続柄である。

同じ人が複数の人を介護等している場合は、重複計上している。

(3) 主に介護等をしている人の続柄—介護等が必要な人の状態別

主に介護等をしている人の続柄を介護等を必要としている人の状態別にみると、屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ状態の人は、「同居」の割合が 90.6%で、9 割となっている。また、何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる状態の人は、「事業者（ホームヘルパー等）」の割合が 17.6%で、総数（10.8%）に比べて、6.8 ポイント高くなっている。（表 I-12-4）

表 I-12-4 主に介護等をしている人の続柄—介護等が必要な人の状態別

	総数	同居											別居											事業者（ホームヘルパー等）		
		同居	配偶者	子	子の配偶者	孫	父母	配偶者の父母	祖父母	兄弟姉妹	他の親族	その他	無回答	別居	配偶者	子	子の配偶者	孫	父母	配偶者の父母	祖父母	兄弟姉妹	他の親族		その他	無回答
総数	100.0 (250)	74.8	32.4	24.8	3.2	-	11.6	-	-	2.8	-	-	-	14.4	-	8.0	2.0	-	-	0.4	-	1.2	0.4	2.4	-	10.8
何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる	100.0 (85)	63.5	36.5	11.8	2.4	-	11.8	-	-	1.2	-	-	-	18.8	-	10.6	3.5	-	-	1.2	-	1.2	-	2.4	-	17.6
屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない	100.0 (104)	76.0	28.8	27.9	5.8	-	10.6	-	-	2.9	-	-	-	16.3	-	9.6	1.0	-	-	-	-	1.0	1.0	3.8	-	7.7
屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ	100.0 (32)	90.6	31.3	37.5	-	-	15.6	-	-	6.3	-	-	-	6.3	-	3.1	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	3.1
1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替において介助を要する	100.0 (21)	85.7	28.6	42.9	-	-	9.5	-	-	4.8	-	-	-	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.5
無回答	100.0 (8)	87.5	50.0	25.0	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5

(4) 主に介護等をしている人（同居）の続柄一性・年齢階級別

主に介護等をしている人のうち、同居している人の続柄を性別で見ると、男性では、「配偶者」と「子」の割合がともに46.6%で最も高く、女性では、「配偶者」の割合が44.7%で最も高くなっている。（表I-12-5）

表I-12-5 主に介護等をしている人（同居）の続柄一性・年齢階級別

		総数	配偶者	子	子の配偶者	孫	父母	配偶者の父母	祖父母	兄弟姉妹	他の親族	その他	無回答
総数		100.0 (187)	43.3	33.2	4.3	-	15.5	-	-	3.7	-	-	-
性別	男	100.0 (73)	<u>46.6</u>	<u>46.6</u>	-	-	4.1	-	-	2.7	-	-	-
	女	100.0 (114)	<u>44.7</u>	24.6	7.0	-	21.1	-	-	2.6	-	-	-
年齢階級別	30歳未満	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30～39歳	100.0 (3)	33.3	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-
	40～49歳	100.0 (17)	11.8	76.5	5.9	-	5.9	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	100.0 (48)	18.8	54.2	12.5	-	14.6	-	-	-	-	-	-
	60～69歳	100.0 (50)	30.0	46.0	2.0	-	16.0	-	-	6.0	-	-	-
	70～79歳	100.0 (31)	80.6	-	-	-	19.4	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	100.0 (38)	86.8	-	-	-	7.9	-	-	5.3	-	-	-
	(再掲)総数 65歳以上	100.0 (96)	69.8	10.4	1.0	-	14.6	-	-	4.2	-	-	-

(5) 介護等による影響の有無

同居で介護等をしている人（226人）に、介護等が始める前と比較して、学業や仕事、収入への影響があるかを聞いたところ、「介護等による影響がある」人の割合は、29.2%となっている。

「介護等による影響がある」人（66人）に内容を聞いたところ、学業に影響がある人はいなかったが、仕事や収入に影響があると答えた人のうち「収入（収入の減少）」に影響があると答えた人の割合は、53.0%で最も高くなっている。（図 I-12-12、図 I-12-13）

図 I-12-12 介護等による影響の有無

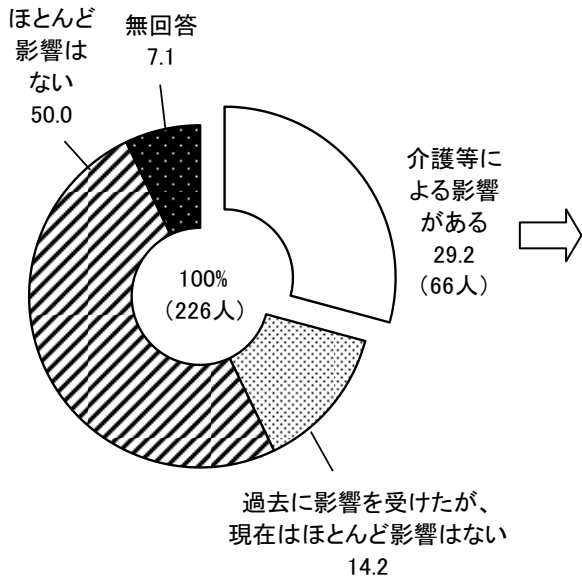
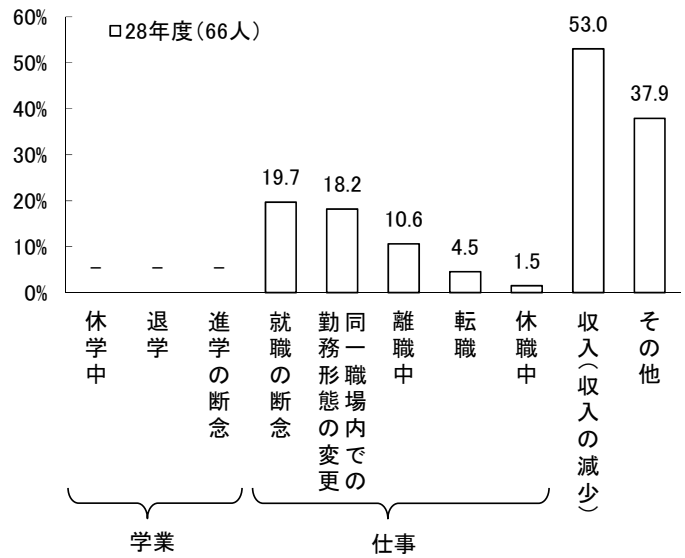


図 I-12-13 介護等により受けている影響〔複数回答〕



注) この場合の「同居で介護等をしている人」とは、ひとりの人を複数の同居親族で介護等している場合は、「主に」介護等をしている人以外の同居親族も含めたすべての同居親族をいう。

また、複数の人をひとりで介護等している場合には、一人としてカウントする。

(6) 介護等による影響の有無（同居）〔複数回答〕

—介護等をしている人の性・年齢階級（同居）別

同居で介護等をしている人（226人）の介護等による影響の有無を性別でみると、「介護等による影響がある」人の割合は、男性32.6%、女性26.7%となっている。（表I-12-6）

表I-12-6 介護等による影響の有無（同居）〔複数回答〕

—介護等をしている人の性・年齢階級（同居）別

	総数	ある介護等による影響が	影響を受けた原因											影響はないが、過去に現在はほとんど	ほとんど影響はない	無回答	
			学業	休学中	退学	進学 の断念	仕事	勤務形態 内での 変更	同一 職場 内での 転職	退職 中	離職 中	就職 の断念	収入 （収入 の減少）				その他
総数	100.0 (226)	29.2	-	-	-	-	15.5	5.3	1.3	0.4	3.1	5.8	15.5	11.1	13.7	50.0	7.1
男	100.0 (95)	32.6	-	-	-	-	20.0	8.4	2.1	-	6.3	3.2	17.9	11.6	9.5	52.6	5.3
20歳未満	100.0 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
20～29歳	100.0 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
30～39歳	100.0 (2)	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
40～49歳	100.0 (12)	16.7	-	-	-	-	16.7	8.3	8.3	-	-	-	16.7	-	-	66.7	16.7
50～59歳	100.0 (26)	53.8	-	-	-	-	38.5	23.1	3.8	-	7.7	3.8	30.8	23.1	7.7	34.6	3.8
60～69歳	100.0 (21)	38.1	-	-	-	-	19.0	-	-	-	14.3	4.8	19.0	9.5	4.8	57.1	-
70～79歳	100.0 (15)	20.0	-	-	-	-	13.3	6.7	-	-	6.7	-	6.7	6.7	26.7	46.7	6.7
80歳以上	100.0 (15)	20.0	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	6.7	6.7	13.3	13.3	60.0	6.7
(再掲) 65歳以上	100.0 (42)	21.4	-	-	-	-	9.5	2.4	-	-	4.8	2.4	4.8	11.9	14.3	59.5	4.8
女	100.0 (131)	26.7	-	-	-	-	12.2	3.1	0.8	0.8	0.8	7.6	13.7	10.7	16.8	48.1	8.4
20歳未満	100.0 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
20～29歳	100.0 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
30～39歳	100.0 (3)	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-
40～49歳	100.0 (12)	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	25.0	16.7	50.0	8.3
50～59歳	100.0 (33)	33.3	-	-	-	-	18.2	3.0	3.0	3.0	-	12.1	21.2	12.1	18.2	42.4	6.1
60～69歳	100.0 (32)	34.4	-	-	-	-	21.9	9.4	-	-	3.1	9.4	18.8	6.3	15.6	40.6	9.4
70～79歳	100.0 (25)	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	4.0	20.0	64.0	8.0
80歳以上	100.0 (23)	26.1	-	-	-	-	8.7	-	-	-	-	8.7	8.7	13.0	17.4	47.8	8.7
(再掲) 65歳以上	100.0 (66)	18.2	-	-	-	-	6.1	1.5	-	-	1.5	3.0	9.1	6.1	18.2	54.5	9.1

(7) 介護等による影響の有無（同居）〔複数回答〕

—介護等をしている人の続柄（同居）〔複数回答〕別

同居で介護等をしている人（226人）の介護等による影響の有無を続柄別にみると、「子」では、介護等による影響のある人の割合が40.3%で、総数（29.2%）に比べて、11.1ポイント高くなっている。

（表I-12-7）

表I-12-7 介護等による影響の有無（同居）〔複数回答〕

—介護等をしている人の続柄（同居）〔複数回答〕別

	総数	ある介護等による影響が	学業				仕事	勤務形態内での					（収入の減少）	その他	過去に影響を受けた影響はない	ほとんど影響はない	無回答
			学業	休学中	退学	進学の断念		勤務形態内での	同一職場内での	転職	休職中	離職中					
総数	100.0 (226)	29.2	-	-	-	-	15.5	5.3	1.3	0.4	3.1	5.8	15.5	11.1	13.7	50.0	7.1
配偶者	100.0 (87)	25.3	-	-	-	-	11.5	3.4	-	1.1	2.3	4.6	10.3	10.3	12.6	52.9	9.2
子	100.0 (77)	40.3	-	-	-	-	24.7	10.4	2.6	-	6.5	5.2	24.7	11.7	10.4	44.2	7.8
子の配偶者	100.0 (19)	26.3	-	-	-	-	5.3	-	5.3	-	-	-	10.5	15.8	5.3	47.4	21.1
孫	100.0 (6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3
父母	100.0 (43)	25.6	-	-	-	-	14.0	4.7	-	-	-	11.6	14.0	11.6	25.6	44.2	7.0
配偶者の父母	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
祖父母	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兄弟姉妹	100.0 (11)	54.5	9.1	9.1	-	-	9.1	9.1	-	-	-	9.1	36.4	9.1	-	45.5	9.1
他の親族	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	- (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-